

令和5年度 人権同和教育に関する教職員の意識調査 集計結果（速報値）

校種 全校種 有効回答者数 4,006人（H30調査：4,004人）

〔回答者の属性〕

職種 管理職（校長・教頭・事務長）8.5%
管理職以外（教諭・養護教諭・栄養教諭・事務職員・講師等）91.5%

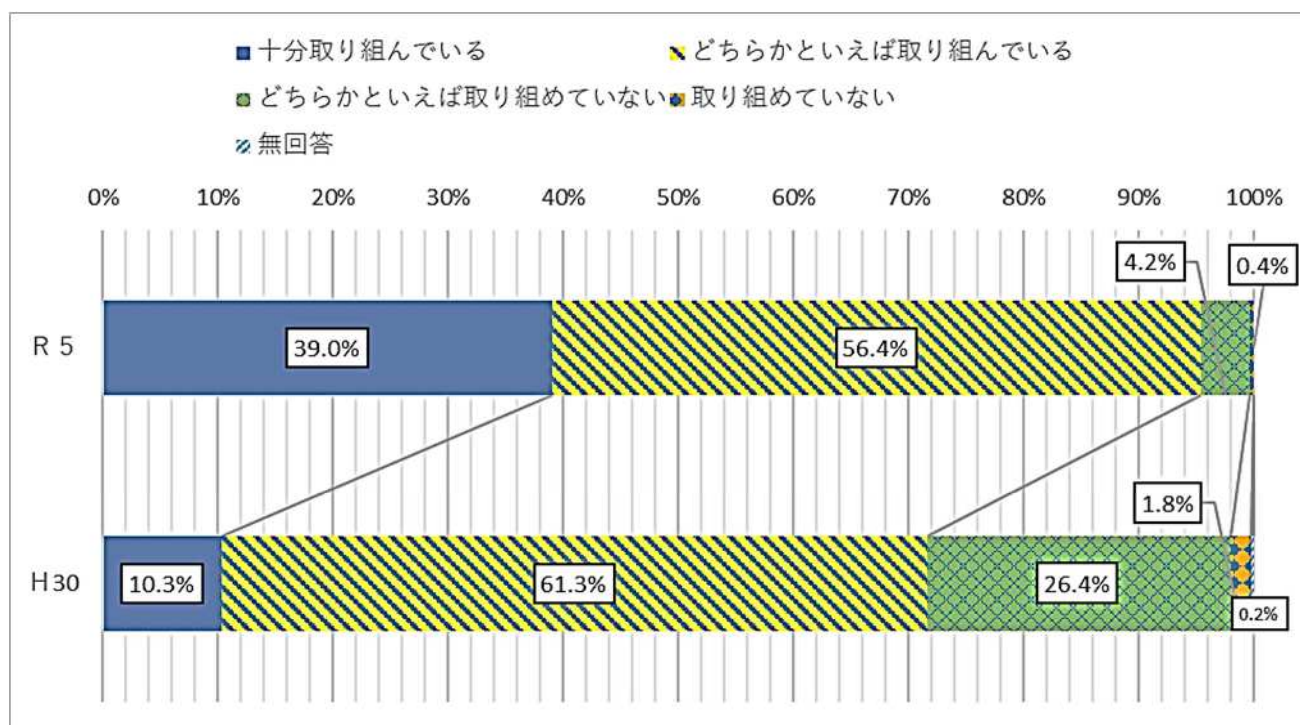
年齢 20代：13.5%，30代：15.0%，40代：25.6%，50代：36.6%，60代：9.3%

経験年数 1～5年：15.0%，6～10年：10.4%，11年～20年：19.7%，
21年以上：54.9%
※ 勤務年数には，臨時的任用期間，県外の学校勤務年数を含む。

〔調査項目〕

1 あなたは、「人権教育の視点に立った教育活動」にどの程度取り組んでいますか。

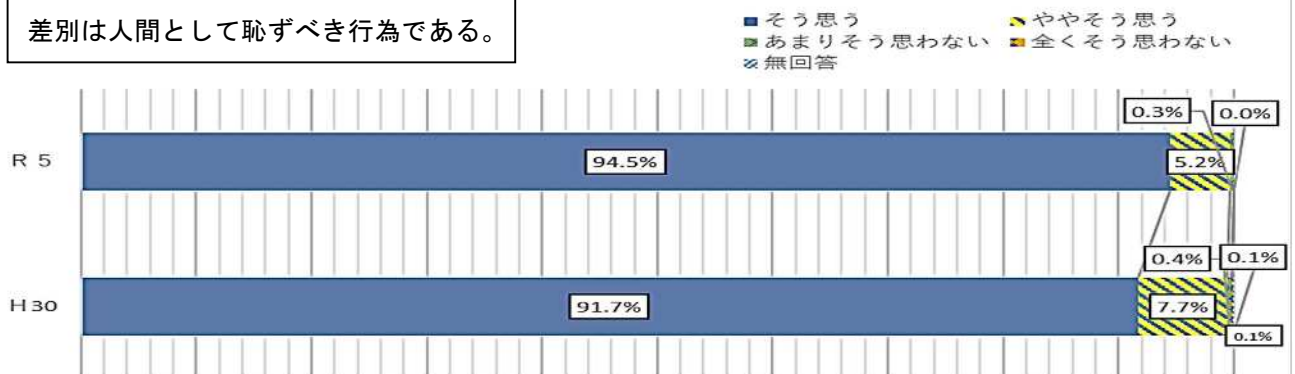
	R 5 (今回)	H30 (前回)
十分取り組んでいる	39.0%	10.3%
どちらかといえば取り組んでいる	56.4%	61.3%
どちらかといえば取り組めていない	4.2%	26.4%
取り組めていない	0.4%	1.8%
無回答	—	0.2%



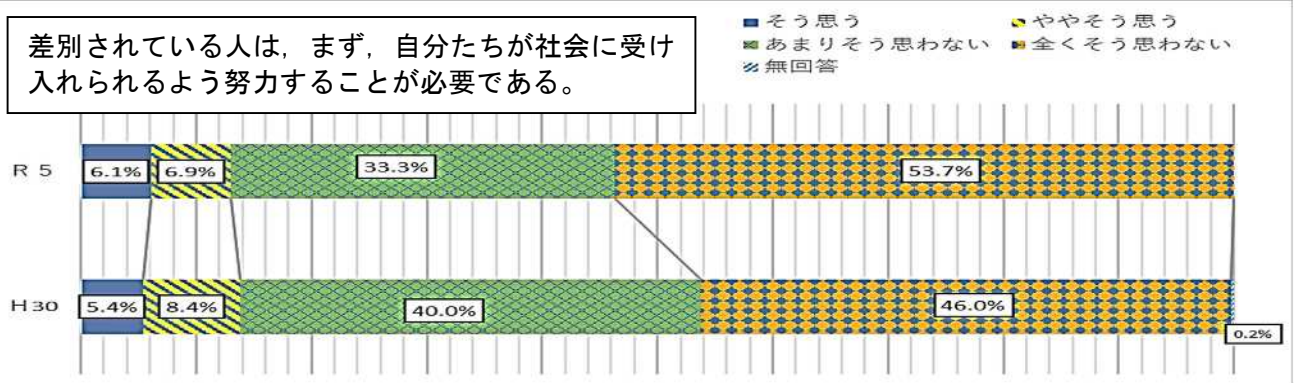
2 あなたは、「差別」についてどのように考えていますか。

	そう思う		ややそう思う		あまりそう思わない		全くそう思わない		無回答
	R 5	H30	R 5	H30	R 5	H30	R 5	H30	H30
差別は人間として恥ずべき行為である。	94.5%	91.7%	5.2%	7.7%	0.3%	0.4%	0.0%	0.1%	0.1%
差別されている人は、まず、自分たちが社会に受け入れられるよう努力することが必要である。	6.1%	5.4%	6.9%	8.4%	33.3%	40.0%	53.7%	46.0%	0.2%
人権問題に無関心な人にも、人権問題についてきちんと理解してもらうことが大事である。	88.5%	85.3%	10.6%	13.1%	0.8%	0.9%	0.1%	0.4%	0.3%
差別は、差別される人の側に原因がある。	1.0%	1.3%	1.7%	4.7%	23.8%	35.9%	73.5%	57.7%	0.4%
どのような手段を講じて、差別を完全になくすことは無理である。	8.5%	8.8%	40.5%	43.5%	33.8%	32.5%	17.2%	14.9%	0.3%
差別を受けている人に対しては、行政の支援が必要である。	58.2%	54.0%	36.9%	39.6%	4.4%	5.1%	0.5%	1.0%	0.3%
差別に対して抗議や反対をすることによって、かえって問題が解決しにくくなる。	1.8%	2.5%	14.3%	14.6%	50.1%	51.1%	33.8%	31.4%	0.4%
人権問題を自分自身の問題として捉えることが大切である。(R5新設)	92.3%	—	7.4%	—	0.2%	—	0.1%	—	—

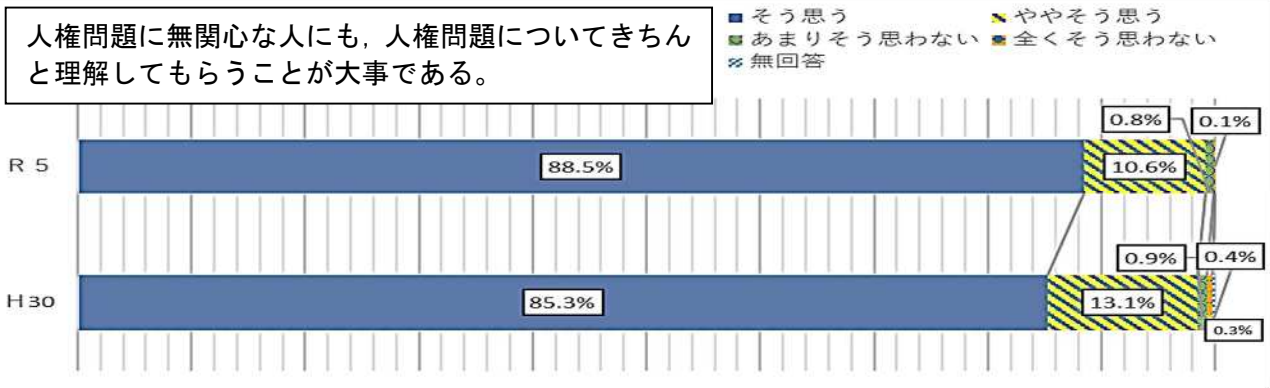
差別は人間として恥ずべき行為である。



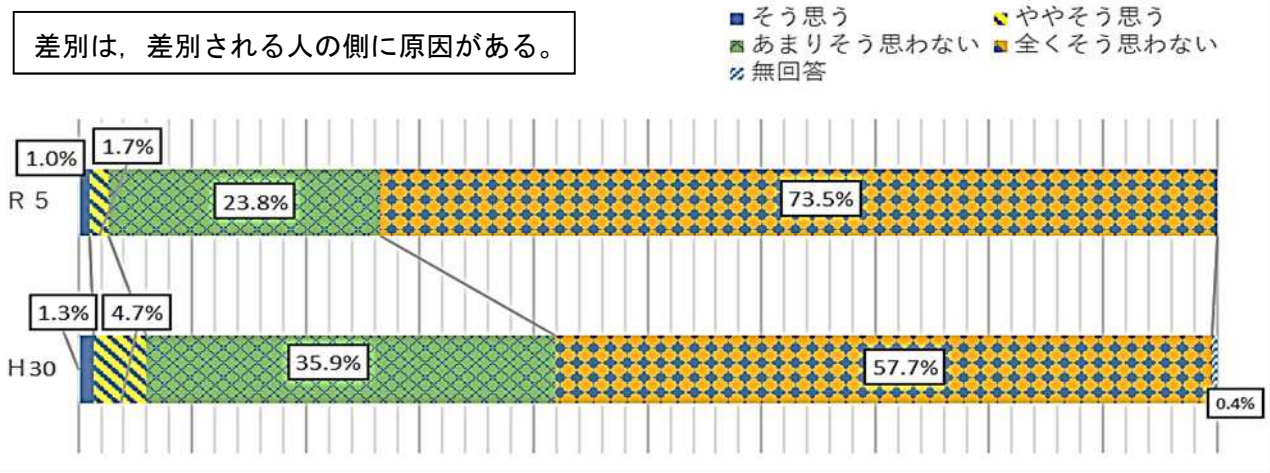
差別されている人は、まず、自分たちが社会に受け入れられるよう努力することが必要である。



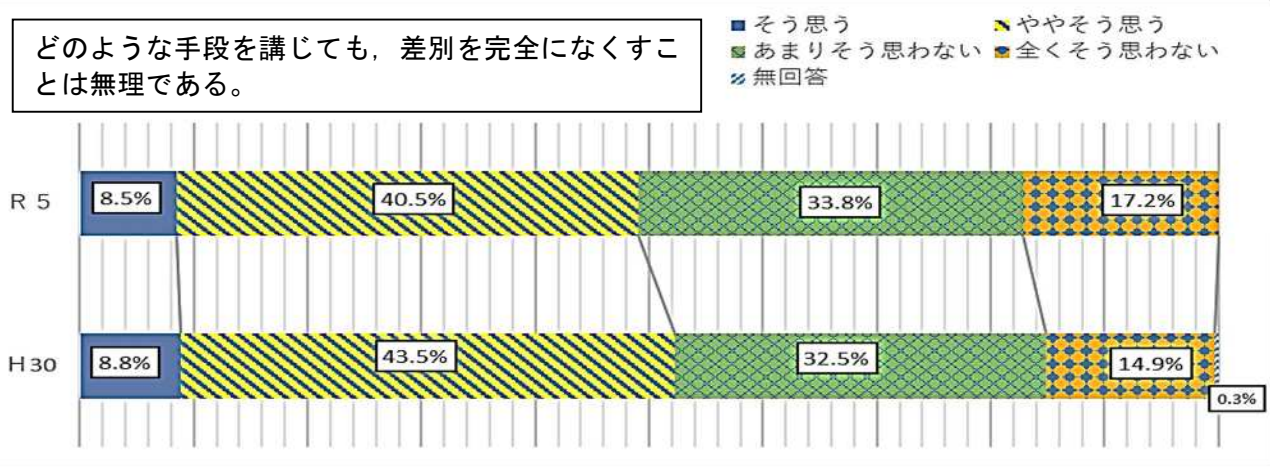
人権問題に関心な人にも、人権問題についてきちんと理解してもらうことが大事である。



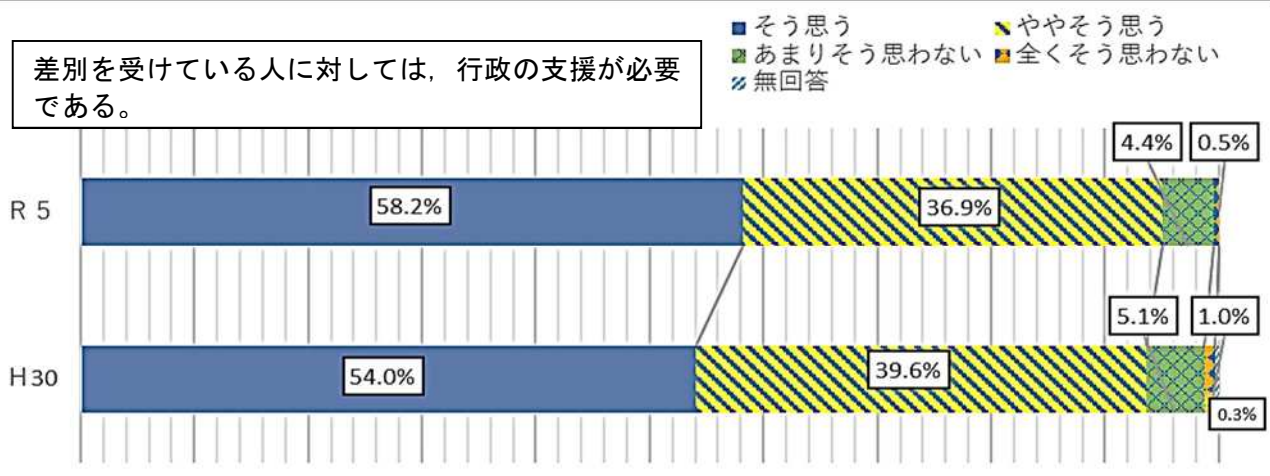
差別は、差別される人の側に原因がある。

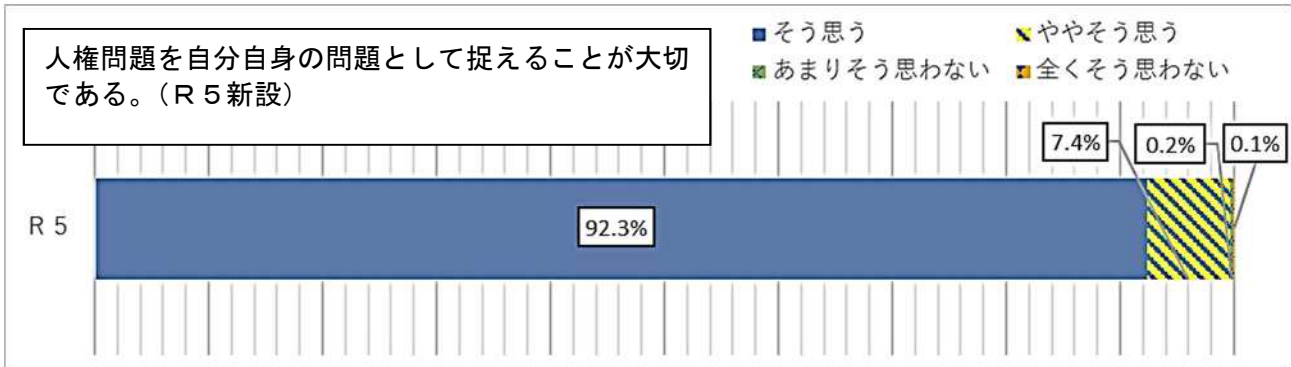
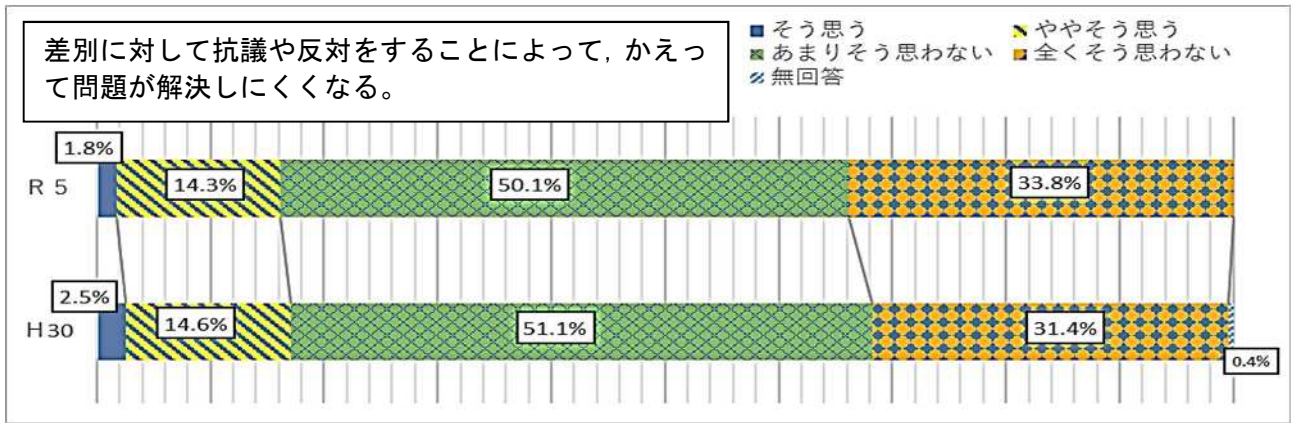


どのような手段を講じても、差別を完全になくすことは無理である。



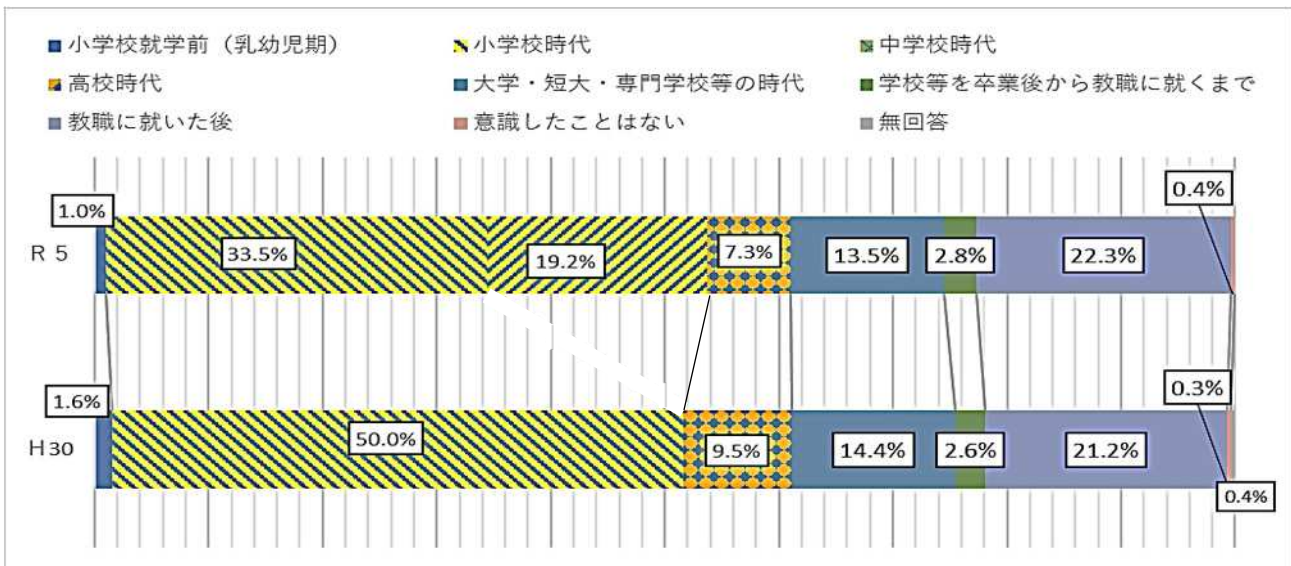
差別を受けている人に対しては、行政の支援が必要である。





3 あなた自身が、学習（研修）や授業、生活を通して、差別や人権について意識し始めたのはいつですか。

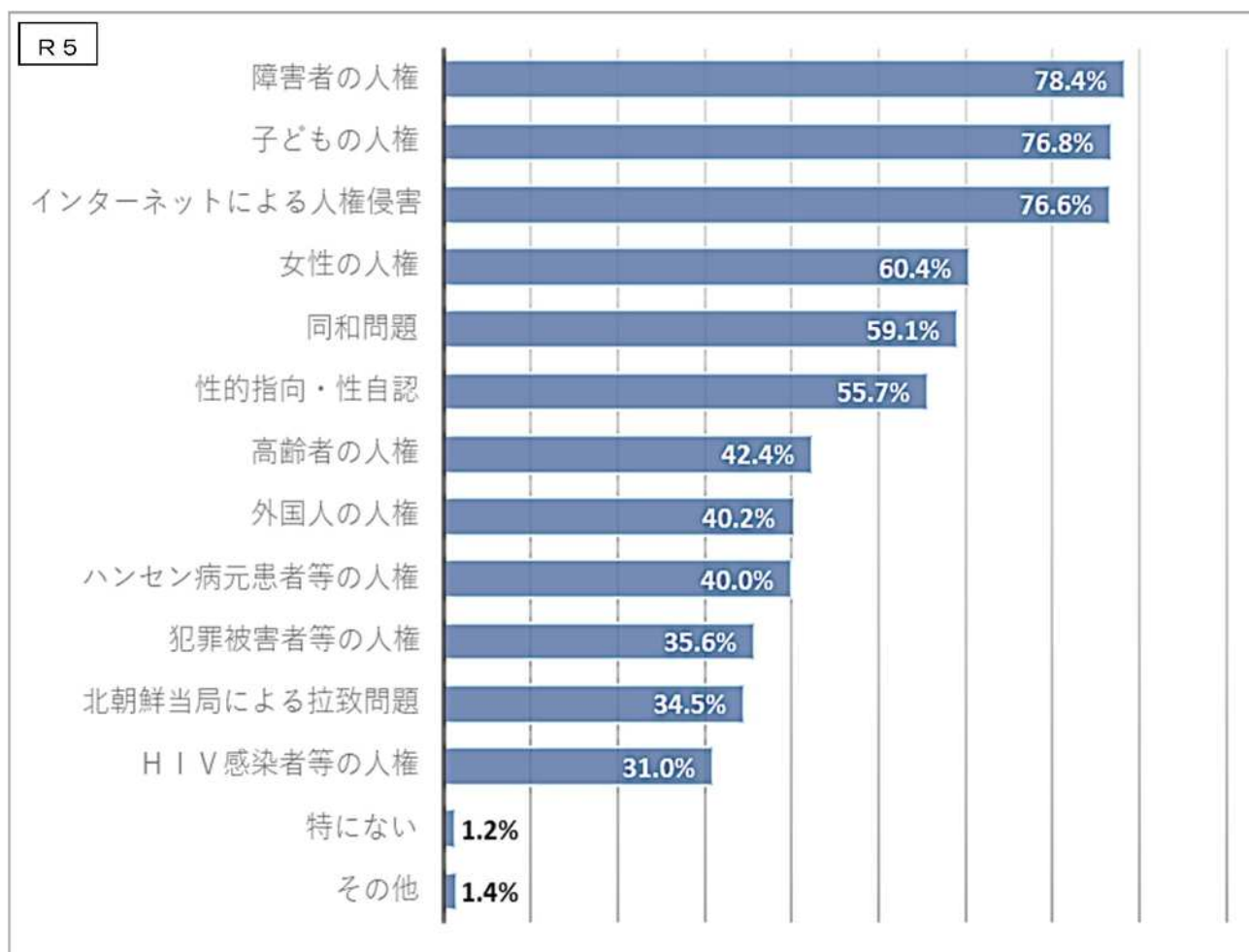
	R5	H30
小学校就学前（乳幼児期）	1.0%	1.6%
小学校時代	33.5%	50.0%
中学校時代		
高等学校時代	19.2%	
大学・短大・専門学校等の時代	7.3%	9.5%
学校等を卒業後から教職に就くまで	13.5%	14.4%
教職に就いた後	2.8%	2.6%
意識したことはない	22.3%	21.2%
無回答	0.4%	0.3%
無回答	—	0.4%



4 あなたが、力を入れて取り組みたいと考える人権課題を全て選択してください。

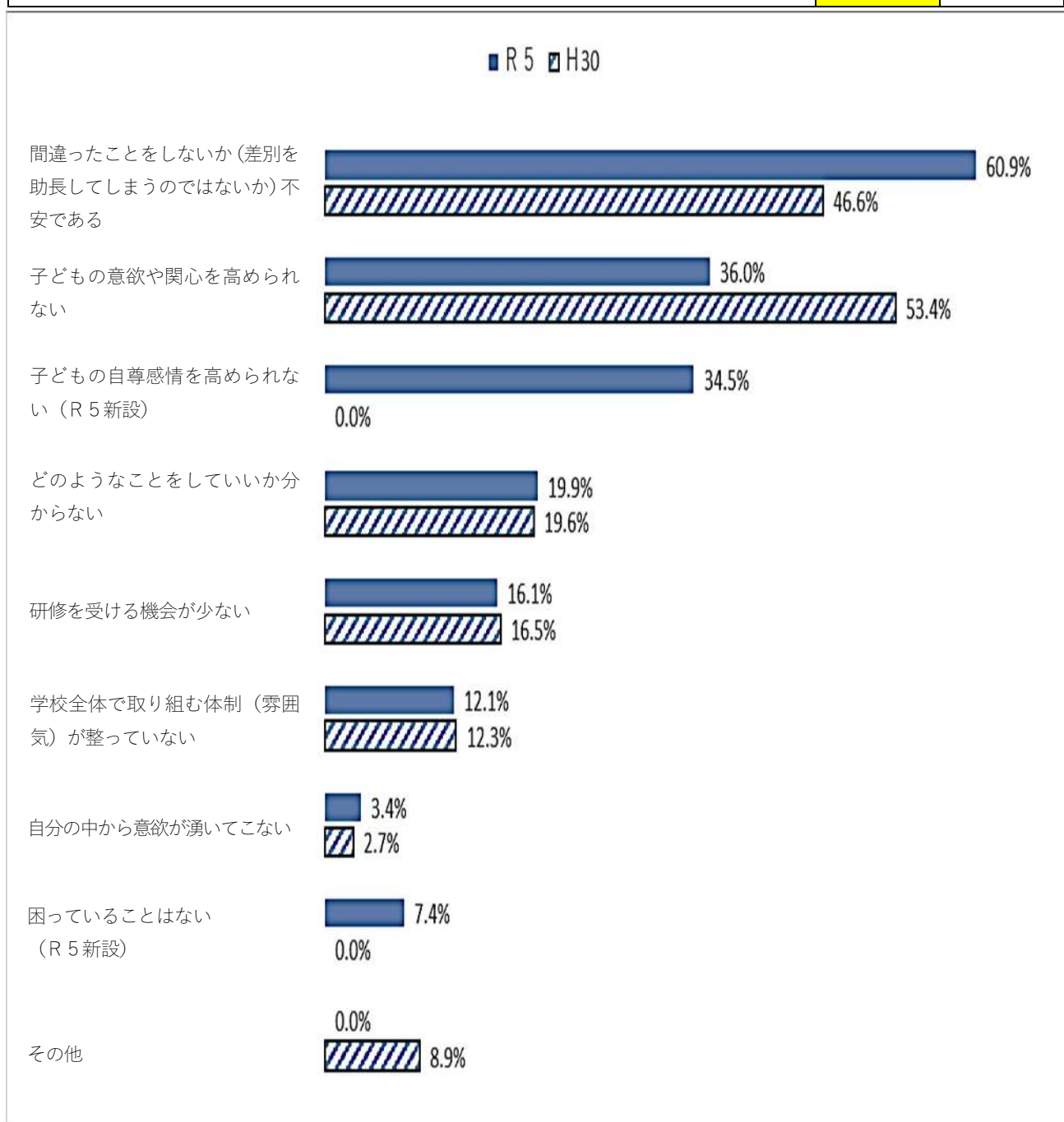
	R 5	H30
障害者の人権	78.4%	73.7%
子どもの人権	76.8%	25.7%
インターネットによる人権侵害	76.6%	48.4%
女性の人権	60.4%	27.5%
同和問題	59.1%	43.0%
性的指向・性自認	55.7%	26.0%
高齢者の人権	42.4%	10.7%
外国人の人権	40.2%	8.7%
ハンセン病元患者等の人権	40.0%	8.8%
犯罪被害者等の人権	35.6%	9.5%
北朝鮮当局による拉致問題	34.5%	7.3%
H I V感染者等の人権	31.0%	2.6%
特にない	1.2%	0.5%
その他	1.4%	2.2%

力を入れて取り組みたいと考える人権課題について、平成 30 年の調査では、三つ選択するものであったが、令和 5 年度は全て選択するものとしたため、平成 30 年度と令和 5 年度の結果比較はしない。



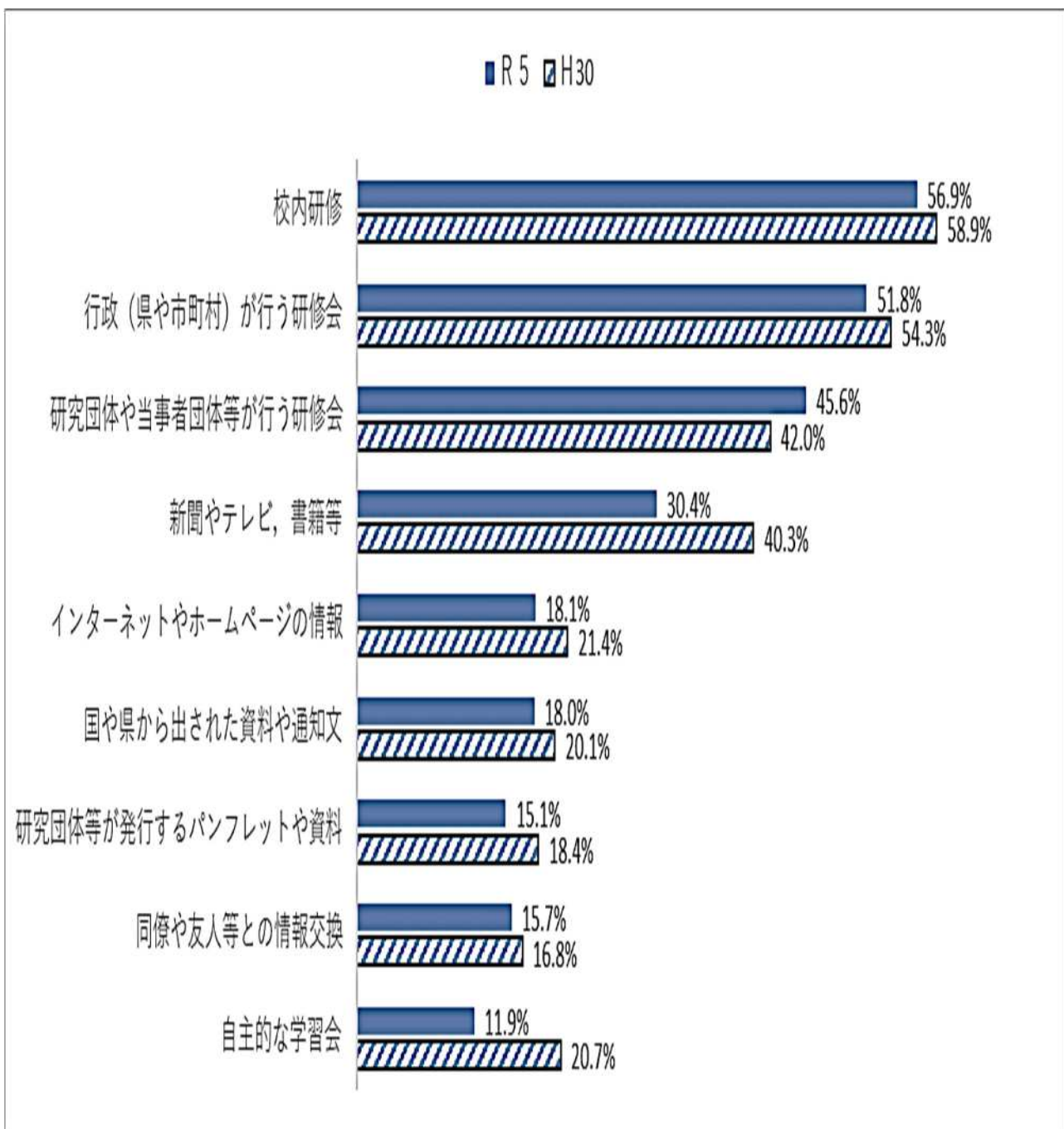
5 人権教育を進める際に、あなたが困っているのはどのようなことですか。（複数選択可）

	R 5	H30
間違っことをしないか（差別を助長してしまうのではないか）不安である	60.9%	46.6%
子どもの意欲や関心を高められない	36.0%	53.4%
子どもの自尊感情を高められない（R 5新設）	34.5%	—
どのようなことをしていいかわからない	19.9%	19.6%
研修を受ける機会が少ない	16.1%	16.5%
学校全体で取り組む体制（雰囲気）が整っていない	12.1%	12.3%
自分の中から意欲が湧いてこない	3.4%	2.7%
困っていることはない（R 5新設）	7.4%	—
その他	0.0%	8.9%



6 あなたは人権課題に関する知識や情報を得る手段として、どのようなものが有効だと思いますか。（三つ選択）

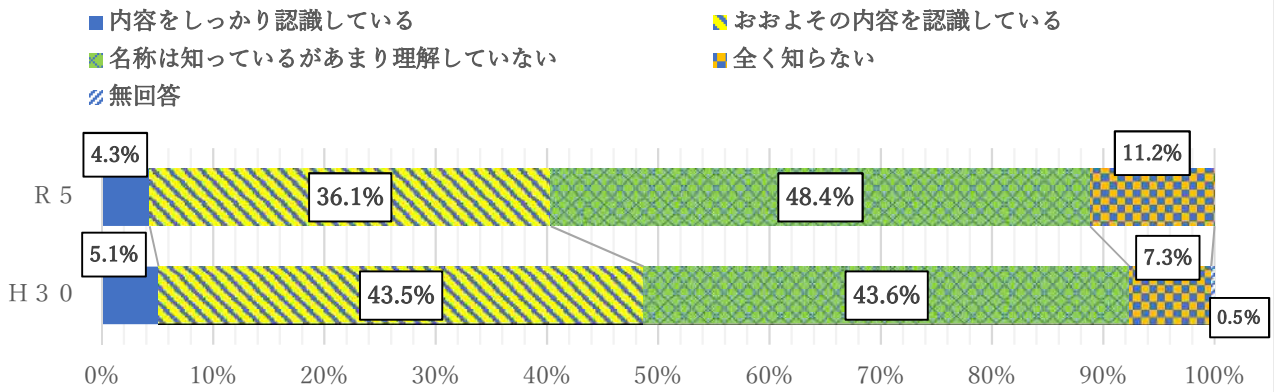
	R 5	H30
校内研修	56.9%	58.9%
行政（県や市町村）が行う研修会	51.8%	54.3%
研究団体や当事者団体等が行う研修会	45.6%	42.0%
新聞やテレビ，書籍等	30.4%	40.3%
インターネットやホームページの情報	18.1%	21.4%
国や県から出された資料や通知文	18.0%	20.1%
研究団体等が発行するパンフレットや資料	15.1%	18.4%
同僚や友人等との情報交換	15.7%	16.8%
自主的な学習会	11.9%	20.7%



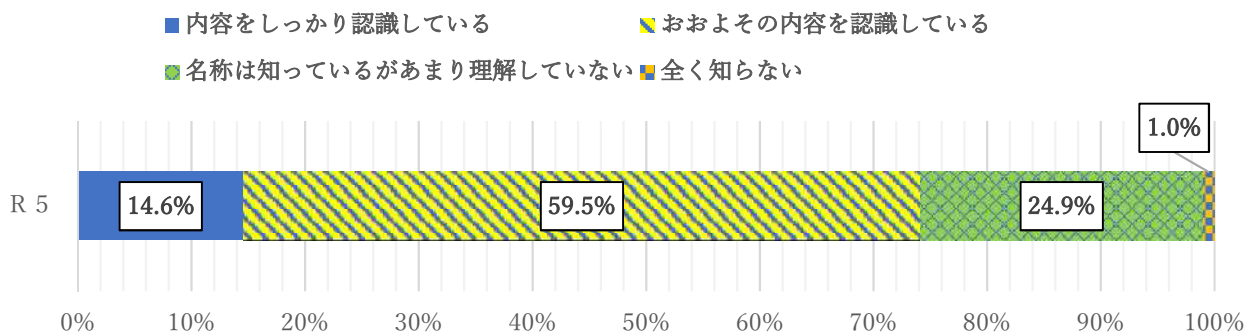
7 あなたは、次の法律や用語等の内容について、どの程度認識していますか。

	内容をしっかり認識している		おおよその内容を認識している		名称は知っているがあまり理解していない		全く知らない		無回答
	R 5	H30	R 5	H30	R 5	H30	R 5	H30	
女性活躍推進法（女性の職業生活における活躍の推進に関する法律）	4.3%	5.1%	36.1%	43.5%	48.4%	43.6%	11.2%	7.3%	0.5%
子どもの権利条約（児童の権利に関する条約）（R5新設）	14.6%	—	59.5%	—	24.9%	—	1.0%	—	—
こども基本法（R5新設）	8.7%	—	44.3%	—	40.6%	—	6.4%	—	—
障害者差別解消法（障害を理由とした差別の解消に関する法律）	9.9%	11.7%	47.4%	52.6%	38.2%	31.3%	4.5%	4.0%	0.4%
合理的配慮の提供	19.8%	14.9%	53.3%	43.9%	20.9%	32.3%	6.0%	8.6%	0.2%
ヘイトスピーチ解消法（本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律）	5.3%	4.7%	35.3%	31.4%	50.3%	51.0%	9.1%	12.6%	0.3%
部落差別解消推進法（部落差別の解消の推進に関する法律）	12.2%	12.4%	51.4%	55.5%	33.9%	28.3%	2.5%	3.5%	0.3%
同和対策審議会答申	8.6%	9.1%	41.0%	43.9%	42.2%	40.9%	8.2%	5.8%	0.3%
鹿児島県同和教育基本方針（R5新設）	8.8%	—	43.7%	—	41.0%	—	6.5%	—	—
LGBT理解増進法（性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解に関する法律）（R5新設）	6.4%	—	42.3%	—	45.1%	—	6.2%	—	—
「性同一性障害や性的指向・性自認に係る、児童生徒に対するきめ細かな対応等の実施について（教職員向け資料）」	7.0%	7.4%	41.9%	44.6%	42.9%	41.8%	8.2%	5.8%	0.4%
鹿児島県人権尊重の社会づくり条例（R5新設）	4.9%	—	30.2%	—	45.7%	—	19.2%	—	—

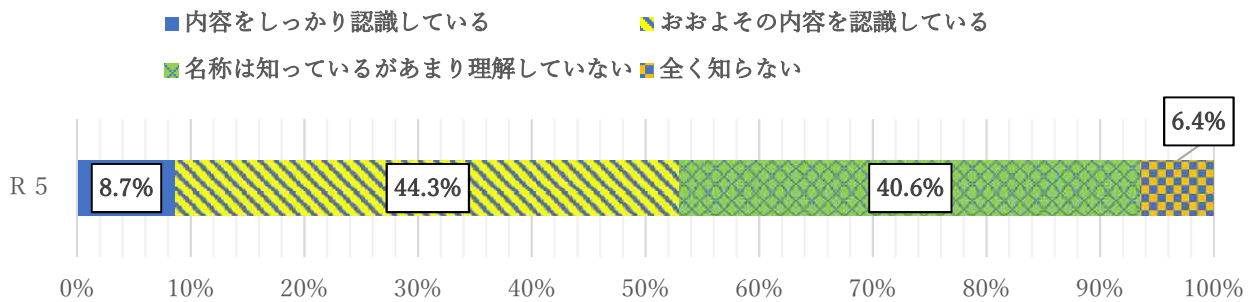
女性活躍推進法



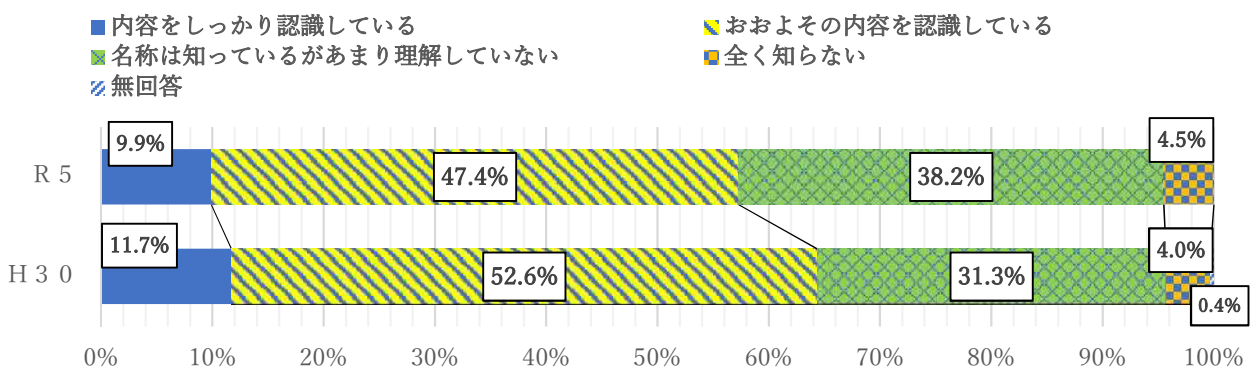
子どもの権利条約



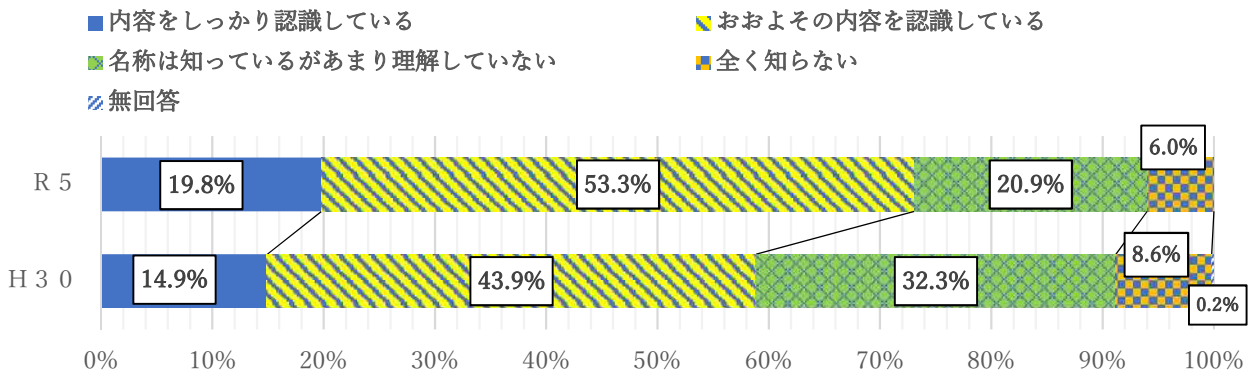
こども基本法



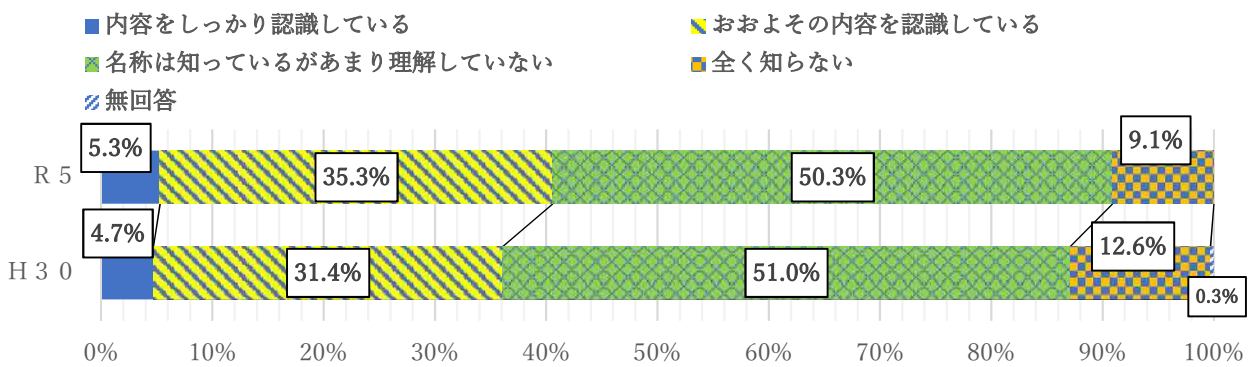
障害者差別解消法



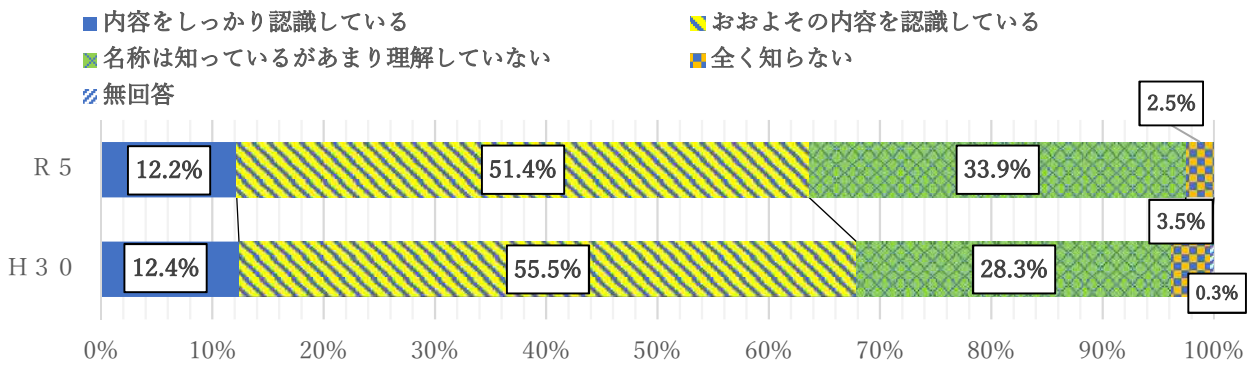
合理的配慮の提供



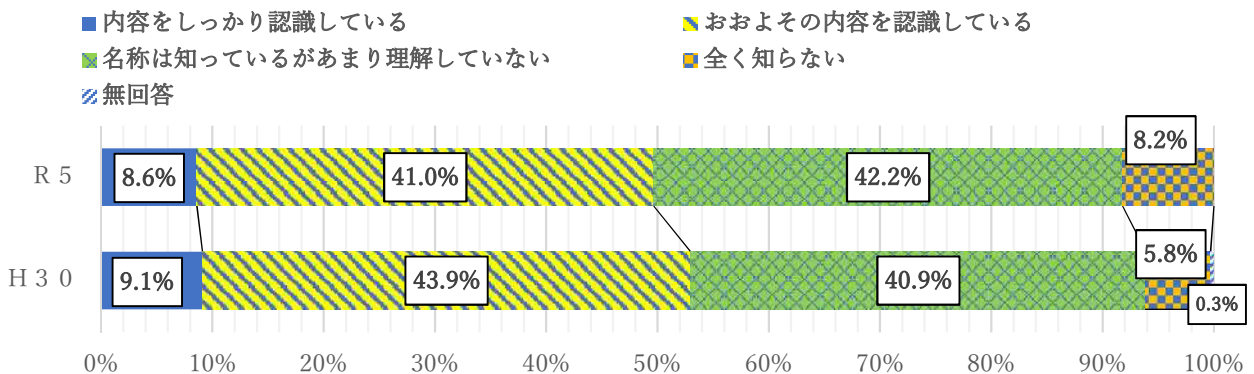
ヘイトスピーチ解消法



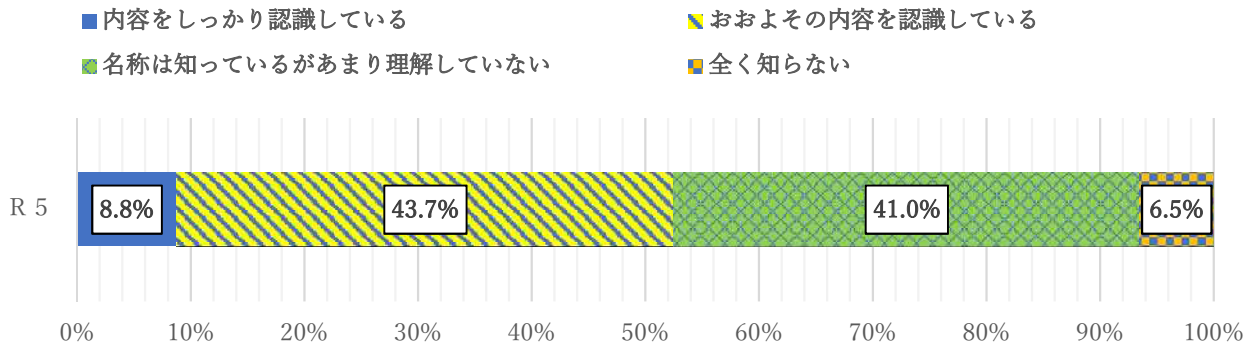
部落差別解消推進法



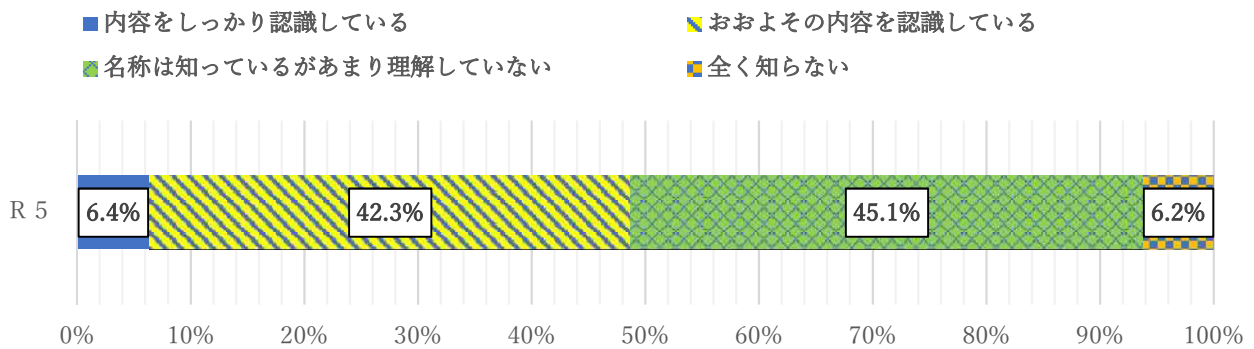
同和対策審議会答申



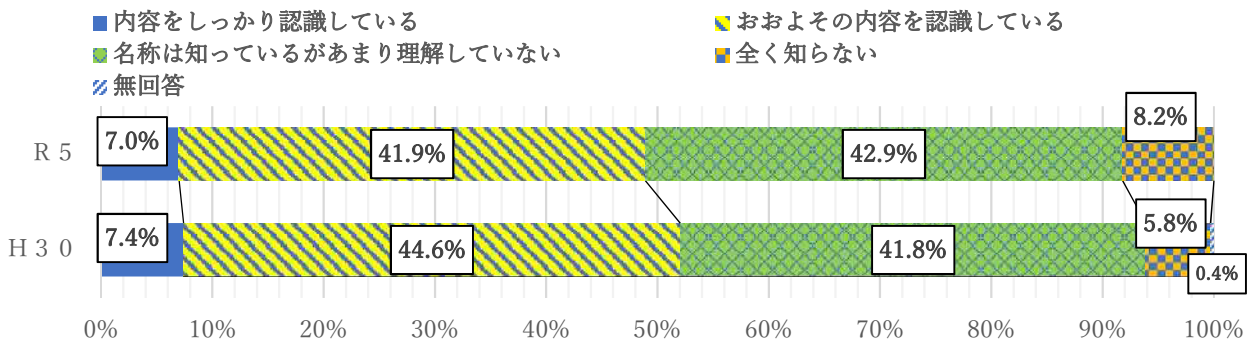
鹿児島県同和教育基本方針



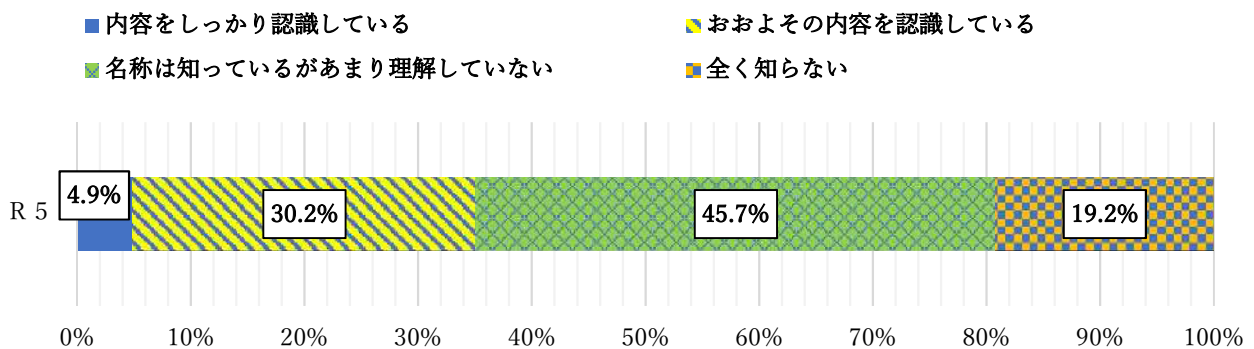
LGBT理解増進法



「性同一性障害や性的指向・性自認に係る，児童生徒に対するきめ細かな対応等の実施について（教職員向け資料）」



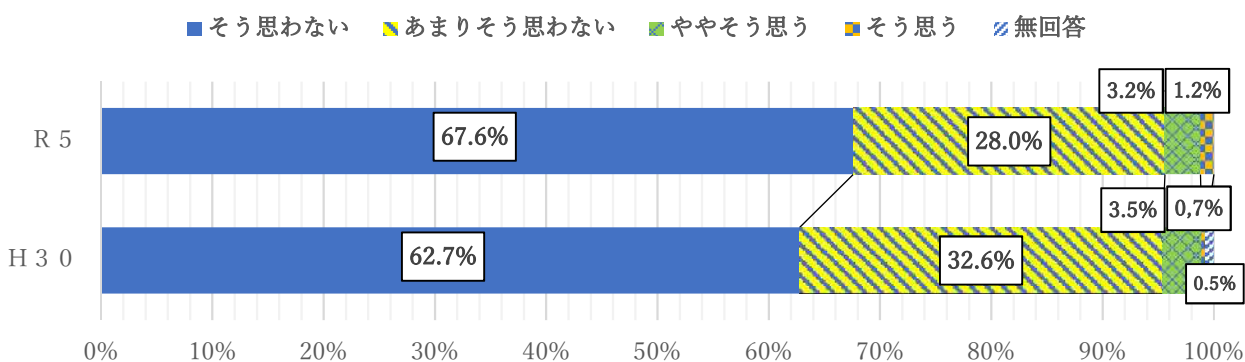
鹿児島県人権尊重の社会づくり条例



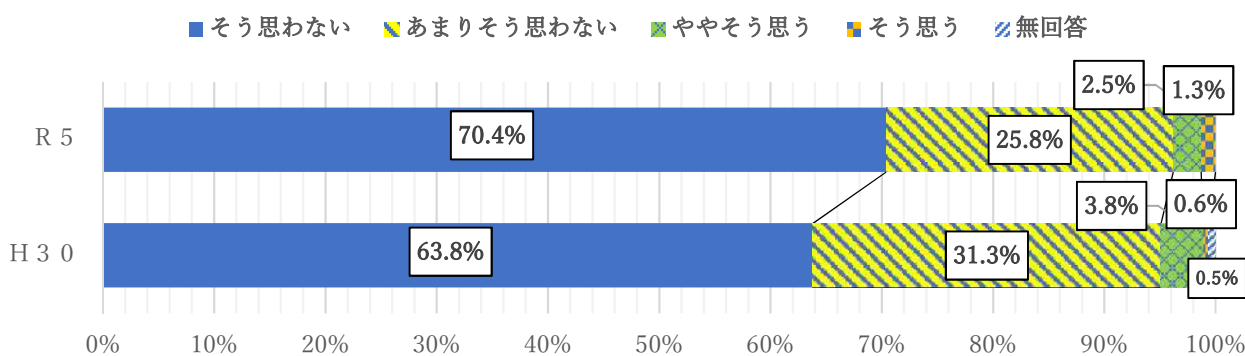
8 「人権課題は何もしなければ自然に解決する」という考え方について、それぞれの人権課題においてあなたの考えに近いものはどれですか。

	そう思わない		あまりそう思わない		ややそう思う		そう思う		無回答
	R 5	H 30	R 5	H 30	R 5	H 30	R 5	H 30	H 30
女性の人権	67.6%	62.7%	28.0%	32.6%	3.2%	3.5%	1.2%	0.7%	0.5%
子どもの人権	70.4%	63.8%	25.8%	31.3%	2.5%	3.8%	1.3%	0.6%	0.5%
高齢者の人権	66.2%	61.3%	28.9%	33.3%	3.7%	4.2%	1.2%	0.6%	0.6%
障害者の人権	73.5%	73.8%	22.8%	24.3%	2.0%	0.9%	1.7%	0.4%	0.6%
同和問題	70.2%	70.3%	23.2%	24.7%	4.8%	3.6%	1.8%	0.5%	0.9%
外国人の人権	66.2%	62.7%	28.9%	32.0%	3.7%	4.2%	1.2%	0.5%	0.6%
H I V感染者等の人権	73.5%	68.9%	22.8%	28.2%	2.0%	1.9%	1.7%	0.5%	0.5%
ハンセン病元患者等の人権	70.2%	70.6%	23.2%	26.2%	4.8%	2.1%	1.8%	0.5%	0.6%
犯罪被害者等の人権	66.0%	70.4%	28.4%	26.5%	4.3%	2.0%	1.3%	0.5%	0.6%
北朝鮮当局による拉致問題	68.3%	74.1%	27.0%	23.4%	3.2%	1.3%	1.5%	0.7%	0.5%
性的指向・性自認	70.5%	70.9%	24.4%	25.6%	3.4%	2.0%	1.7%	1.1%	0.4%
インターネットによる人権侵害	70.7%	75.4%	25.4%	22.7%	2.6%	0.9%	1.3%	0.6%	0.4%

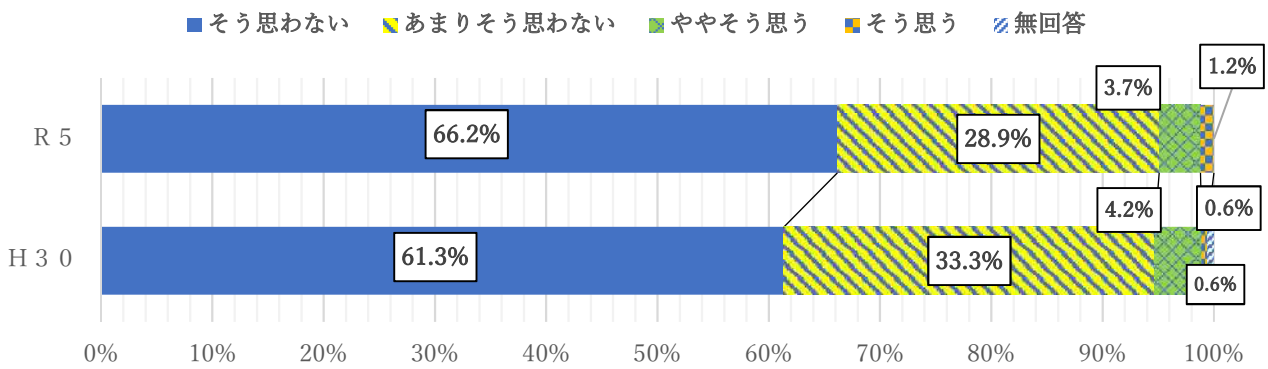
女性の人権



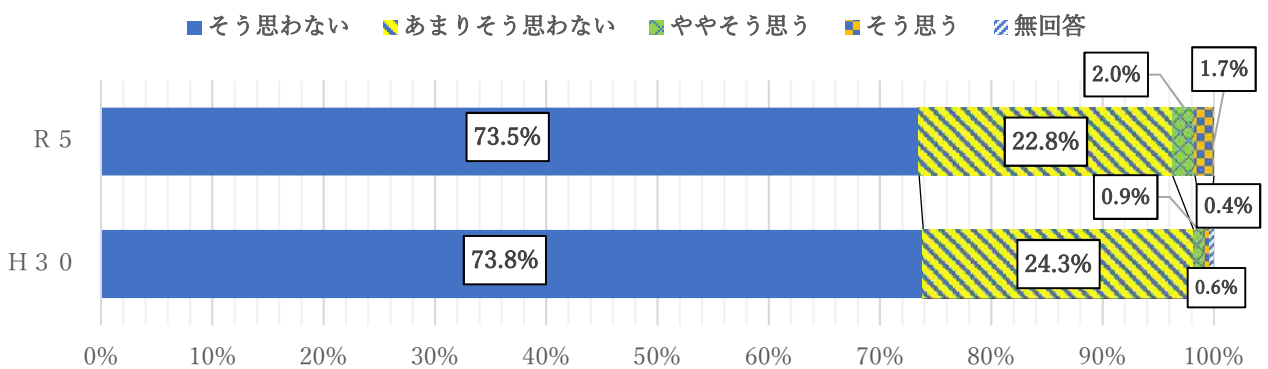
子どもの人権



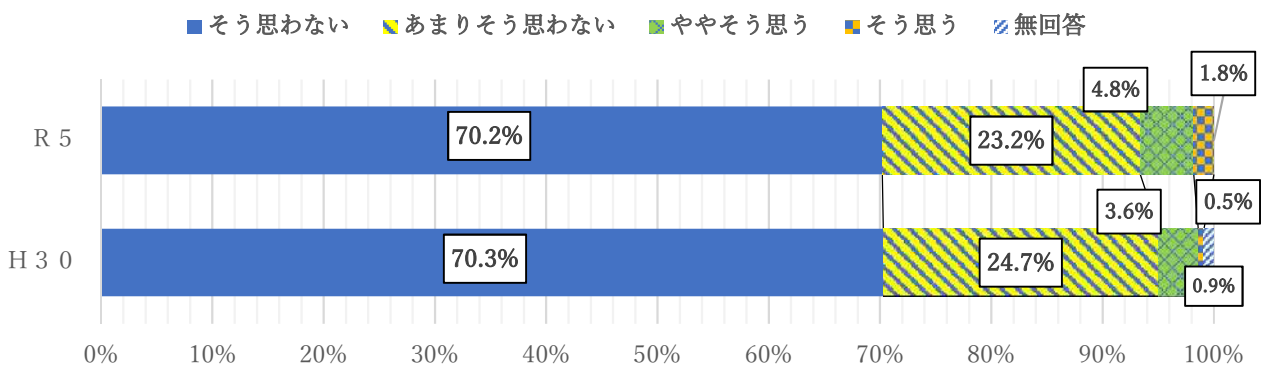
高齢者の人権



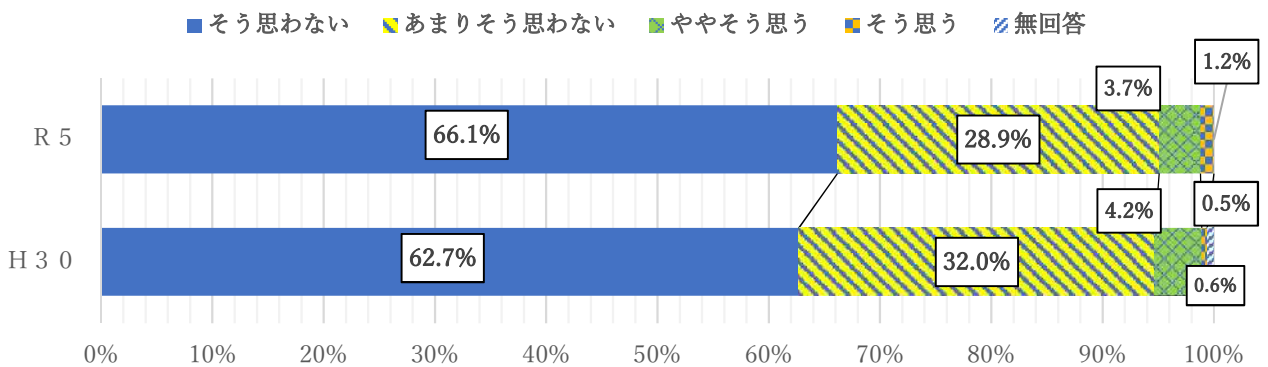
障害者の人権



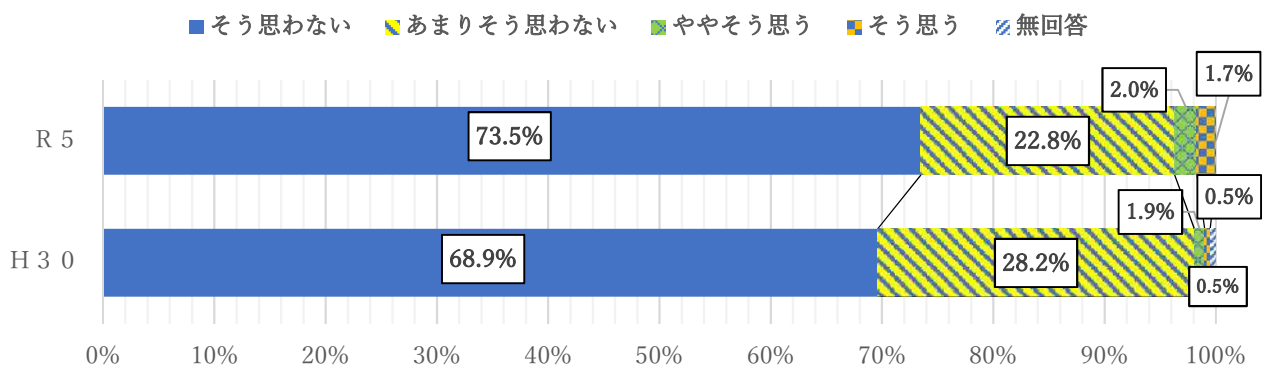
同和問題



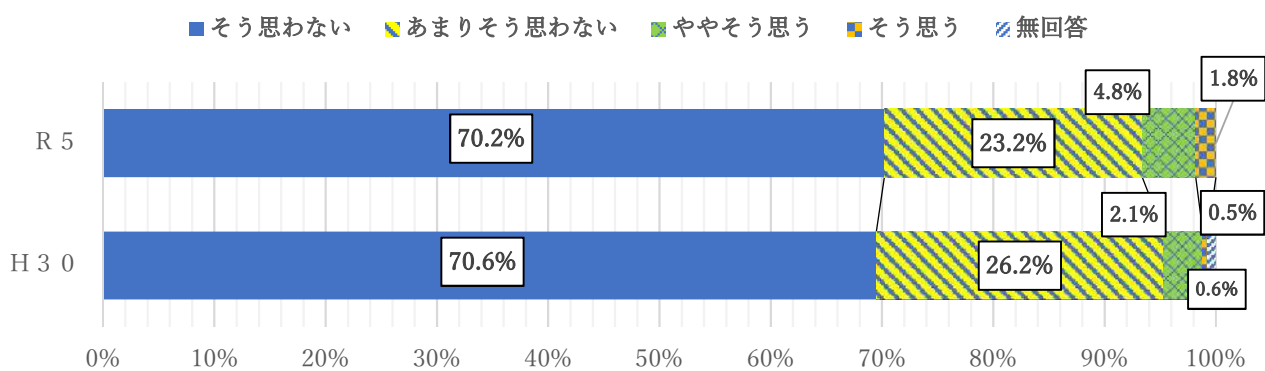
外国人の人権



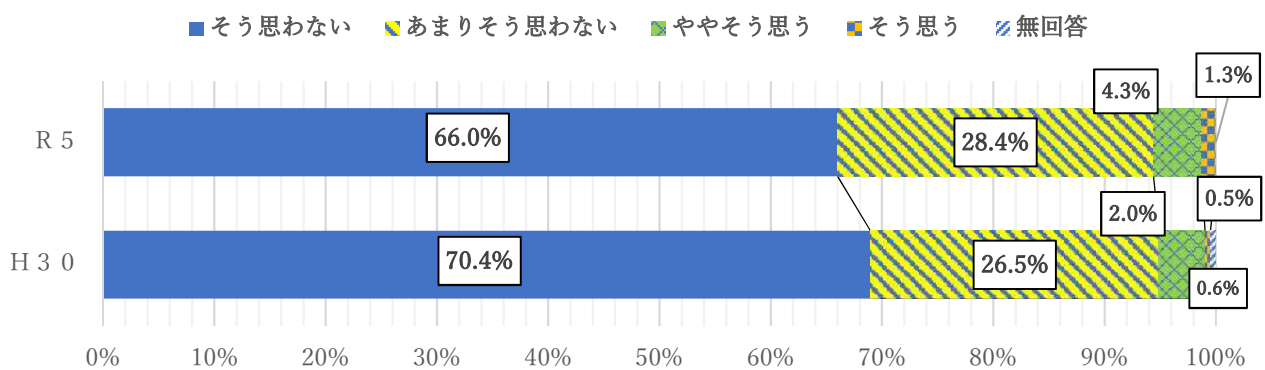
H I V感染者等の人権



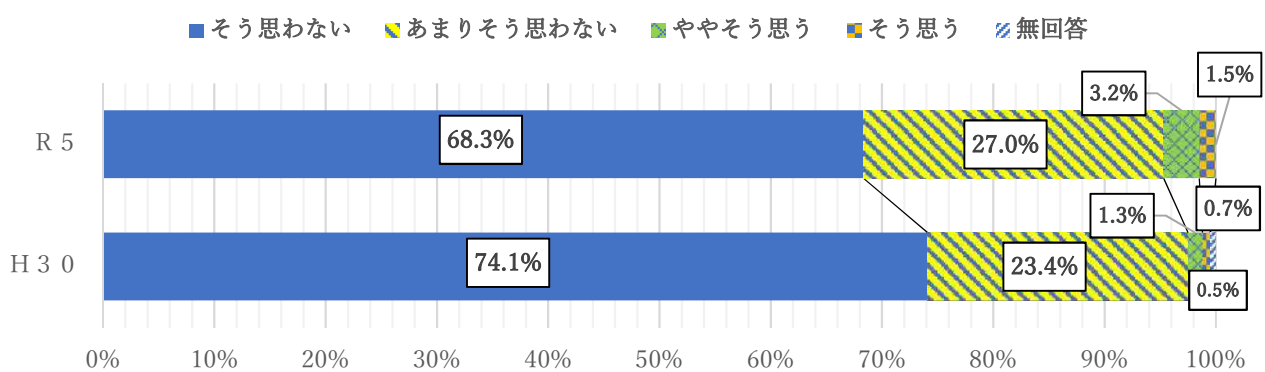
ハンセン病元患者等の人権



犯罪被害者等の人権

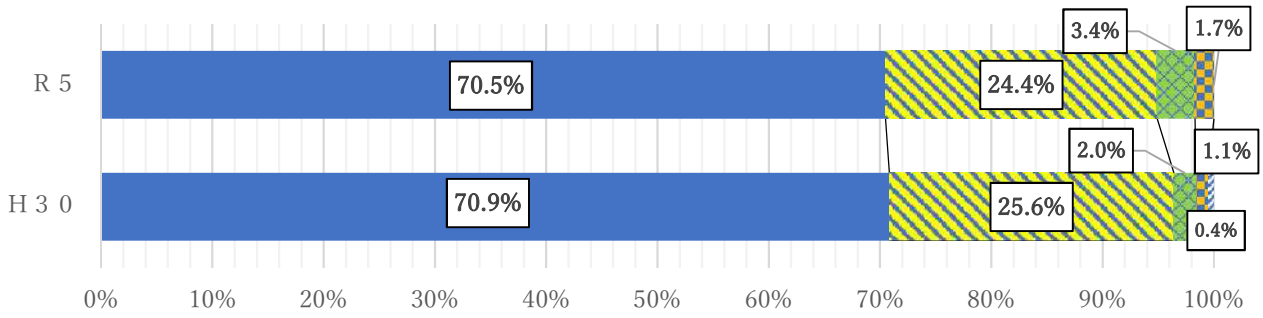


北朝鮮当局による拉致問題



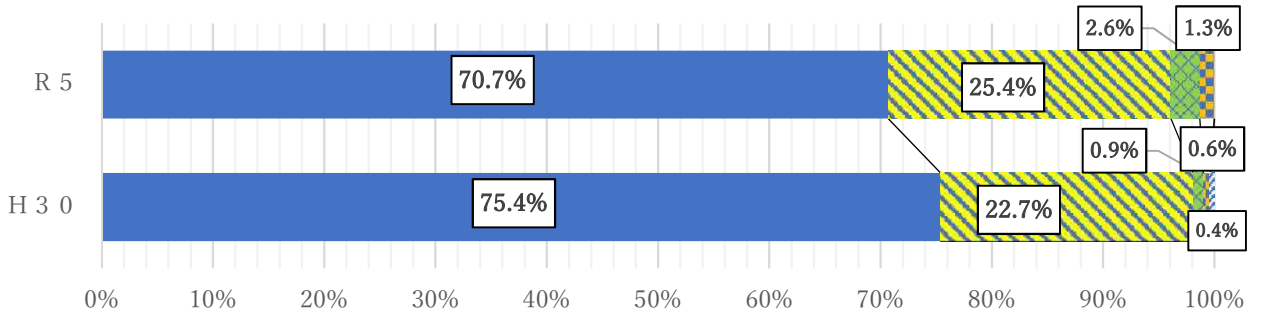
性的指向・性自認

■ そう思わない ■ あまりそう思わない ■ ややそう思う ■ そう思う ■ 無回答



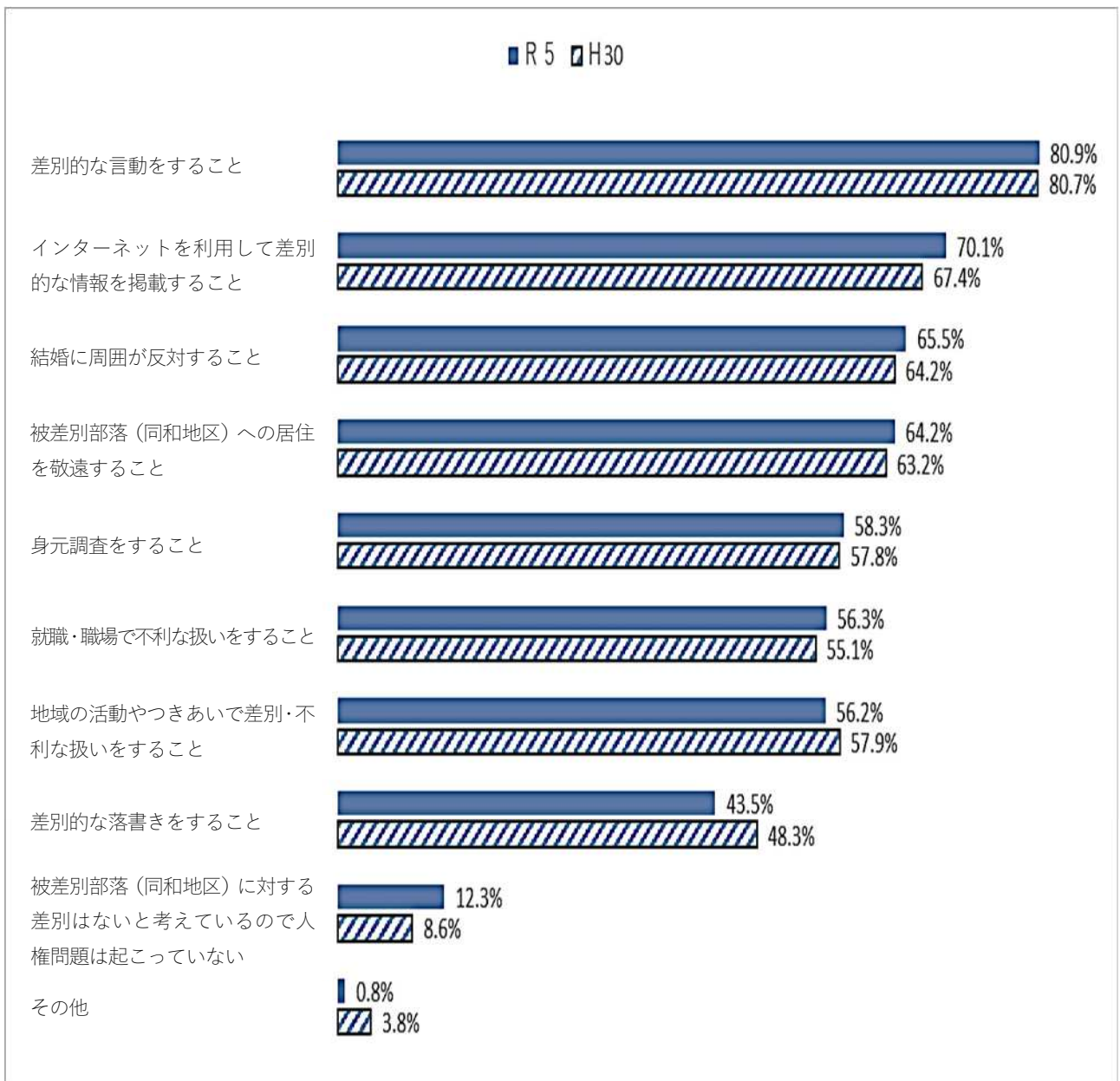
インターネットによる人権侵害

■ そう思わない ■ あまりそう思わない ■ ややそう思う ■ そう思う ■ 無回答

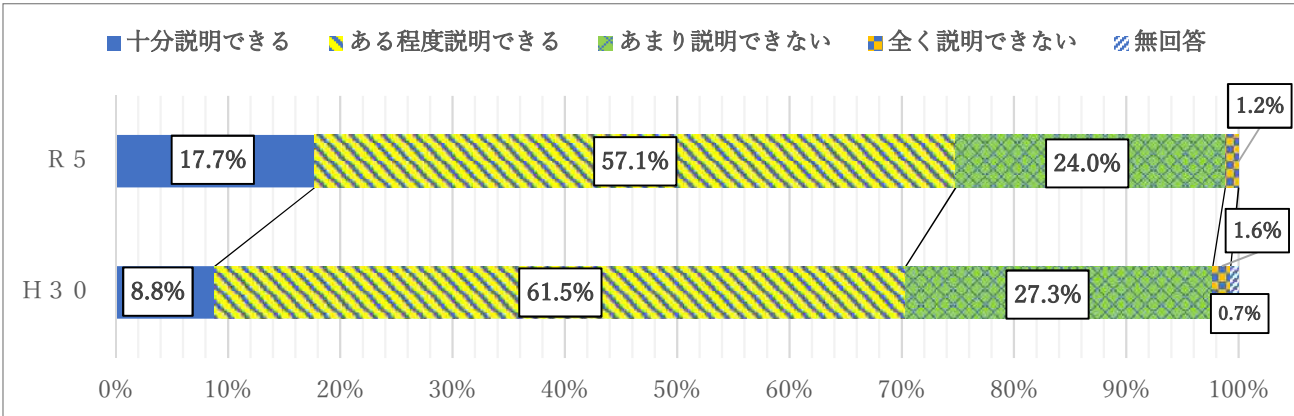


9 現在、同和問題に関し、どのような差別事象等が起きていると思いますか。 (複数選択可)

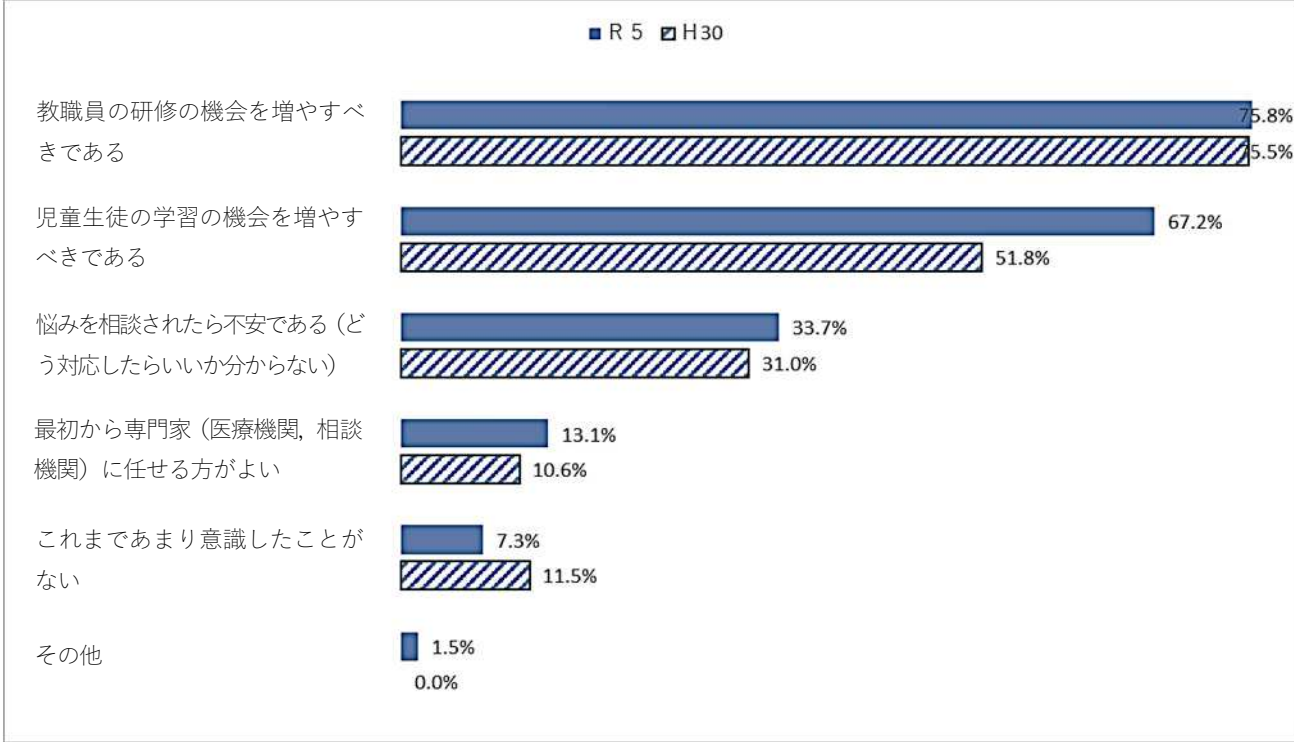
	R 5	H30
差別的な言動をすること	80.9%	80.7%
インターネットを利用して差別的な情報を掲載すること	70.1%	67.4%
結婚に周囲が反対すること	65.5%	64.2%
被差別部落（同和地区）への居住を敬遠すること	64.2%	63.2%
身元調査をすること	58.3%	57.8%
就職・職場で不利な扱いをすること	56.3%	55.1%
地域の活動やつきあいで差別・不利な扱いをすること	56.2%	57.9%
差別的な落書きをすること	43.5%	48.3%
被差別部落（同和地区）に対する差別はないと考えているので人権問題は起こっていない	12.3%	8.6%
その他	0.8%	3.8%



10 児童生徒から同和問題に関する質問があった時、どの程度説明できますか。		
	R 5	H30
十分説明できる	17.7%	8.8%
ある程度説明できる	57.1%	61.5%
あまり説明できない	24.0%	27.3%
全く説明できない	1.2%	1.6%
【無回答】	—	0.7%



11 性的指向・性自認に関することについて、あなたが感じていることに該当する項目を全て選択してください。		
	R 5	H30
教職員の研修の機会を増やすべきである	75.8%	75.5%
児童生徒の学習の機会を増やすべきである	67.2%	51.8%
悩みを相談されたら不安である（どう対応したらいいか分からない）	33.7%	31.0%
最初から専門家（医療機関，相談機関）に任せる方がよい	13.1%	10.6%
これまであまり意識したことがない	7.3%	11.5%
その他	1.5%	—



12 児童生徒の人権教育に携わるに当たって、現在、あなた自身が特に大切にしたいことは何ですか。（三つ選択）

	R 5	H30
人権感覚を養うこと	69.8%	67.7%
児童生徒一人一人と関わる基本姿勢（Mom）を定着させること	50.7%	47.1%
人権教育や人権課題に関わる知識を深めること	48.2%	48.5%
児童生徒との望ましい関係（信頼関係）を構築すること	47.8%	51.8%
人権尊重の視点に立ち、日常の様々な場面における言動等に配慮すること	46.8%	55.5%
人権教育の指導技術を高め、指導内容・方法の工夫・改善を図ること	12.5%	15.4%
家庭訪問等を通して、児童生徒や保護者、地域の人々の願いや思いを聴き、差別の現実や実態を理解すること	4.4%	7.4%

